



TOSS
Teacher's Organization of Skill Sharing

子ども観光大使事業 滋賀 近江八幡



二〇一四年八月三十一日(日)、滋賀県立男女共同参画センターにて、「第一回子ども観光大使 近江八幡大会」が開催された。地元滋賀・近江八幡の魅力を県内外に発信できる子ども達を育てようと、県内の小中学校教師の有志で作る「子ども観光大使実行委員会」が主催である。

近江八幡の魅力について学習

講師の菊井了氏(日本よし笛協会会長)は、会場にヨシを持参し、ヨシの果たす役割について説明をした。「ヨシは、琵琶湖の水をきれいにしたり、魚や鳥のすみかとなり、生き物を育んだりします。」子ども達は興味津々に話を聞いた。実際にヨシに触れてみたりするなどして、活動を楽しんでいた。



近江八幡市長より、激励のメッセージ!

当日は、近江八幡市長より、激励のメッセージをいただいた。また、近江八幡の子供観光大使に認定された子供たちに一人ずつ、市長名の表彰状が送られた。

子ども観光大使の仲間、全国各地で活躍をされていると聞いております。それぞれの子ども観光大使が住む地域の良いところを探り、知り、体験をして、その受け止めた地域の良さを多くの方々に伝え、発信すること、強度を愛する人達を増やす取り組みをしておられます。

本日は、近江八幡市の水郷地帯に生えているヨシを使った学習や体験をされると聞いています。ヨシについて学んだり体験したことを始め、近江八幡市の豊かな自然や歴史を多くの方々に伝えていただきますようお願いいたします。

近江八幡市長 富士谷英正



よし笛 みんなで演奏

「ピーツ、ピーツ」澄んだ音色が響き渡る。子ども達は、用意されたヨシを使ってよし笛を作り、音を鳴らしてみた。とても楽しそうである。よし笛協会の菊井氏、近藤氏が加わり、みんな「カエルの歌」を演奏した。



参加者二五名 参加者の声



今回参加してくれたのは小学生一七名、保護者八名である。参加した子どもたちは最後に、近江八幡を紹介する観光大使がきを作成した。参加した全員に観光大使認定証が手渡された。子どもアンケートより

よし笛の作り方は、とてもわかりやすかったし、もう一個も作って帰りたいです。よし笛でもっと音が出せたらいいです。

保護者より
子ども達に地域の伝統を知ってもらうためのよい機会でした。先生方のお話もとても興味深く、あつという間に時間がたちました。ありがとうございます。
工作するのが好きな子ども達なので、このような体験を通して自分達の住む街のことを知ることができて大変良かったと思います。